

令和7年4月7日

大阪府下で初めて発見された大型「木製はにわ」 特別展示を羽曳野市役所にて開催

羽曳野市は、国史跡古市古墳群の峯ヶ塚古墳における令和4年度第19次調査で発見された大型「木製はにわ」の保存処理完了を記念し特別展示を行います。大型「木製はにわ」は、古墳の墳丘上、あるいは造出しと呼ばれる部分に立てられたとみられる木製の「はにわ」で、大阪府下での発見は初めてであり全国的にもこれまで16例しか出土例がない貴重なものです。



【木製はにわ出土状況写真】

木製「はにわ」の保存処理には2か年を要し、他部分の破片の接合など修復のための作業も併せて行いました。この結果、木製はにわの現存長については、出土当時よりも約30cm大きくなり、3.8mとなりました。また、修復にかかる経費をクラウドファンディングで調達するという、本市において初めての取り組みとなりました。文化財はすべて国民全体の財産であり、クラウドファンディングを通して全国から寄せられたご寄付により今回の保存処理が実現したことから、多くの方が来訪される市役所本館で特別展示を行うものです。

■開催概要

【特別展示】

場所：羽曳野市役所

羽曳野市誉田4丁目1番1号 本館1階コミュニティスクエア

日程：令和7年4月7日（月曜日）から4月11日（金曜日）まで

時間：午前9時から午後5時30分まで

なお、特別展示の終了後は、羽曳野市文化財展示室にて一般展示を行います。

【一般展示（令和7年4月14日より）】

羽曳野市文化財展示室

羽曳野市役所南側

月曜日から金曜日 午前10時から午後4時まで（土日祝休館）

■問い合わせ先

羽曳野市教育委員会事務局 生涯学習部 文化財・世界遺産室

電話番号 072-958-1111（内線4400、4401、4480～4484）